



2008.10
NO.

12

発行 協賛代理
 長野県湖沼水環境保全対策推進協議会
 住所 長野市杉妻町2番16号
 (事務局 福祉課生活環境部水・大気環境課)
 TEL 024-521-7258 FAX 024-521-7227
 ホームページ <http://www.ht-net2.1.ne.jp/kosukyo/>
 E-mail kosukyo@ht-net2.1.ne.jp

みずみらいつうしん

湖美来通信

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖。裏磐梯」

この人に聞く

タウン誌「田こおりやま」編集長 伊藤 和さん 2

磐梯山の噴火と自然～120年後の風景～ 3

平成20年度上半期 協議会活動状況について
 トピックス 水環境保全推進員活動報告 4

湖美来基金と湖美来クラブ 5

おすすめスポット / 読者プレゼント / 協議会からのお知らせ 6

4月



協議会定期総会(平成20年4月25日)のようす

6月



猪苗代湖のボランティア清掃と学習会(平成20年6月21日)のようす

8月



裏磐梯湖沼観察会(平成20年8月20日)のようす
 左・松原湖沼探勝路 右・東京電力(株)秋元発電所



湖美来基金は、水環境保全活動を支援しています。

Q「街ごおりやま」の編集長としてご活躍されていますが、ご自身は福島県の自然や風物をどのように感じていますか？

福島県というのは、気候や植物だけでなく伝統文化や食べ物などについて、(日本)北部と南部の分水嶺になっていて、いろいろなものの境目のような地域な



タウン誌「街ごおりやま」編集長

伊藤 和さん

(郡山市出身)

「街ごおりやま」は、34年以上もの長い間、市民から頼りまわっているタウン誌です。毎月の発行を通じ、郡山市の姿を見つめてきた伊藤編集長にお話を伺ってきました。

(この人に聞く)

伊天山、人形浄瑠璃分布の北限は郡山市白和町、とそれれ言われていました。

Q 猪苗代湖や裏磐梯、あるいはこの周囲の自然環境について、思い出や感想をお聞かせください。

郡山市民は誰でもそうだと思いますが、猪苗代湖には毎年泳ぎに行っています。

んですね。
例えば、福島県には、北寄(モッキ)貝の南限があり、柚子の北限があり、また人形浄瑠璃の北限があるのです。北と南のものがどちらも味わえる、豊かな地域が福島県だと、言えますね。

●市庁舎の開設はいわき市、柚子の北限は福島県

した。小石ヶ浜(六津菅松市)の方まで遠征したり、小平湯天満宮(猪苗代町)へ志田浜から泳いで行ったりと、楽しかったです。

冬になると、スキーに猪苗代に行きましたね、毎日仕事が終わると電車に乗って、昔は、駅の前までスキーで滑り降りて来るのができたので(！)、そのまま電

車に乗って帰って来たりしていました。

Q 郡山市では、「チーム環太郎」による環境保全の啓発が有名ですが、郡山市民でもある立場から、水辺を含む環境についての希望などをお聞かせください。

郡山市は、江戸の昔から池や沼が多く、それを生活に利用してきた地域ですが、一方で、川はほとんど「禁れ川」で、常に洪水に悩まされてきました。水辺への愛着があると同時に、水への恐怖というものも、郡山の人たちは持っているんですね。人間の生活と、環境保全の関係は大変難しいものですが、自然とふれ合っていて暮らしていけると良いですね。

私は4年前から「郡山市農業青年会議所のメンバー」と、野菜を作ったりで売るといって「農と街を結ぶプロジェクト」あぐり市」を行っています。

また、昨年「郡山農学校」というものを主宰していて、農業を通じて自然とふれ合うといったことを楽しく実践しています。

Q 最後に、環境保全のために実践していることがあれば、お聞かせください。

少し違うかもしれませんが、私の自宅の庭はあまり手を入れないので、虫やトンボがたくさんいます。今は秋の虫の音が賑やかです。夏には蝉が上の中から

上がってきます。昔は当たり前であった環境も、まち中では今はもう望めませんね。上のある風景を残したいと思っています。

それから、もちろん排水を流すときは、台所では汚れを拭き取ってから洗うなど、なるべく汚れた水を出さないように気をつけています。小さな実践ですが

プロフィール

伊藤 和 (いとう かずお)

○タウン誌「街ごおりやま」編集長
昭和49年より現職

○委員等は、郡山市国際交流協会
運営委員会副委員長

○郡山市景観づくり審議会副会長ほか
著作活動として「郡山市史」の「部を
執筆するなど、実績多数



猪苗代湖



タウン誌「街ごおりやま」
2008年9月号



郡山の環境守り隊
「チーム環太郎」
◎様々なイベントで、郡山市の
環境保全の啓発を実施中

磐梯山の噴火と自然 120年後の風景

会津のシンボルである磐梯山。猪苗代湖側から眺めた山体は、円錐形の優美な姿を見せていますが、北側の裏磐梯から見た磐梯山は、切り立った崖に岩肌が露出した生々しい景観を呈しています。これは、今から120年前の噴火によって生じた爆裂火口です。

明治21年7月15日の朝7時45分、大音響と共に磐梯山に噴火が起こり、噴煙が高く立ち昇りました。そして、主峰である大磐梯山の北側にあった小磐梯山が



【噴火3週間後に北方から眺めた爆裂火口：会津若松市立会津図書館蔵】

噴火直後、磐梯山に旅行した東京帝國大学初代地質学教授の関谷清景らによって報告された講文中の図。爆裂火口の状況と岩肌なだれによって生じた岩肌地形(岩肌池の存在)が詳細に描かれている。

【小野川湖底の墓石：福島県立博物館提供写真】
小野川湖で水位を下げた後、見られた墓石。かつては湖底ではなかったところには、墓石が



崩れ、その山体が消滅しました。この噴火はマグマを噴出せず、水蒸気を主体とした火山ガスの圧力により山体を崩壊させた水蒸気爆発です。
崩壊した総体積は13億立方メートル(東京ドームおよそ1000杯分)、総重量は31億トンに達します。小磐梯山の崩壊により、粉砕された岩塊が岩屑なだれとなつて北側に流下しました。



【新出第三湖ノ図 遠藤修郎蔵】

猪苗代町歴史で採集した古田君蔵が噴火の状況を「会津磐梯山噴火之由來」として1冊の本にまとめた。その中の図。岩肌なだれにより長瀬川が堰き止められ誕生したばかりの磐梯湖、小野川湖、元湖などの湖沼が描かれている。

岩屑なだれは山頂から8キロメートル離れた秋元原まで6分で到達。平均速度は時速80キロメートルという猛スピードでした。そして秋元原、細野、雄子沢を完全に埋没。長瀬川沿いに流下した先端泥流は、川上温泉、長取を襲いました。この噴火により477名もの人が亡くなりました。また、裏磐梯に流れ下った岩屑なだれにより、長瀬川の上流部が堰き止められ、松原湖、曾原湖、小野川湖、秋元湖、磐梯五色沼などが生じ、水没する村々は移転を余儀なくされました。秋元湖はその年の10月に、小野川湖は翌年2月に、松原湖は1年後の4月に満水となりました。

大きな被害をもたらした磐梯山の噴火ですが、裏磐梯高原は、壮大な爆裂火口のハノラマ、様々な色彩をもつ大小の湖、多彩な植生など、美しい景観をもつ観光地へと変貌しました。昭和25年には磐梯山周辺は国立公園となり、現在、東北地方有数の観光地として毎年たくさんの方の観光客が訪れています。

【福島県立博物館専門委員 首谷陽一 郎】



裏磐梯 現在



平成20年度上半期 協議会活動状況について

ホームページ: <http://www.kosei21.net/jp/kosukiyor>

県民参加による、
猪苗代湖のボランティア清掃と
学習会を開催しました。

〔6月21日〕

ボランティア清掃と学習会は、今年
で3年目となります。梅雨の晴れ間と
なった当日は、県内外から、162人
もの参加者がありました。

学習会では、猪苗代湖の水環境の
話や、地元出身の偉人、野口英世博士
についての講義を聴きました。
その後、へま島のすぐ前の志田浜に出
て、浜辺の清掃を実施しました。



▲ホテルでの学習会
皆さん熱心に聴いていました

▼浜辺での清掃の様子
(回収した植物ゴミも回収)



裏磐梯湖沼観察会を
開催しました。

〔8月20日〕

裏磐梯の水に関連した施設の見学
と、松原湖畔探勝路での自然観察を
実施しました。

さわやかな快晴の一日、充実した観
察会となりました。

表紙の写真でも、観察会の様子を
紹介しています。

◆参加者数：11名

当日のコース

松原湖畔探勝路→裏磐梯浄化センター→
東京電力(株)秋元発電所→松原湖遊覧船



▲裏磐梯浄化センター

▲秋元発電所



▲湖沼からの御嶽山

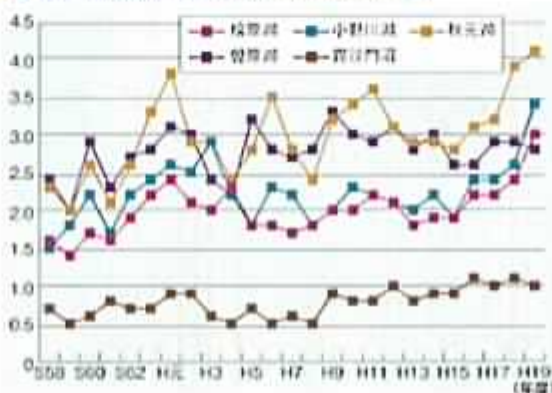


TOPICS

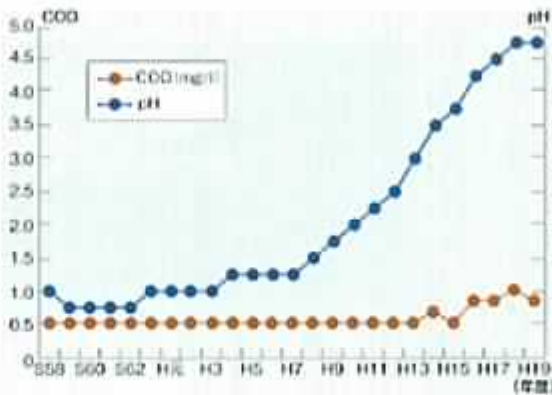
○平成19年度 猪苗代湖・裏磐梯湖沼の 水質測定結果について

今年7月に、平成19年度の測定結果が県よ
り公表されました。裏磐梯湖沼については、C
Dの上昇傾向がみられます。猪苗代湖につい
ては、PH、CODとも2数年で上昇傾向にあり
ましたが、同年度から見ると数値は横ばいです

◆裏磐梯湖沼のCOD(化学的酸素要求量)



◆猪苗代湖のCODとpH(水素イオン濃度指数)



水環境保全推進員 活動報告



▲相原久保 推進員

裏磐梯地域
を活動区域と
する推進員の
人、相原さんを

訪ねました。活動の中心の北塩原村松
原集落付近を案内していただきましたが
ら、お話を聴かせていただきました。
「何より、自分たちを囲んだ自然を
大事にしたい。また、(猪苗代湖の)上
流域である裏磐梯から水環境保全を

実践することも重要」と、おっしゃって
いました。
これから秋本番の裏磐梯。美しい水
辺は、訪れる人々たちにも喜んでもらえ
ると思います。



▲空くを流れる会津川



▲水辺の湖畔、ここに立っています

湖美来基金と湖美来クラブ

協議会の特別会計として運営している「湖美来（みずみらい）基金」では、猪苗代湖と裏磐梯湖沼の水環境保全のため、平成15年度から流域での保全活動等を支援しています。この基金は、「湖美来クラブ」会員の方々の会費をはじめ、寄付や募金などで成り立っています。

現在、「湖美来クラブ」の個人会員は630名、法人会員は57事業所です。法人会員の年会費は1万円、ご覧の事業所が会員として基金をサポートしてくださっています。



(入会年月)

法人会員事業所一覧 (会員の了解のもと、お名前を掲載しています)					
1	(株)トヨネスト	2002.11	30	双葉運輸(株)	2004.2
2	(財)福島県下水道公社	2002.11	31	(株)アイワコーポ	2004.3
3	(株)大東銀行	2002.11	32	福島県環境検査センター(株)	2004.3
4	休暇村裏磐梯	2002.11	33	協業組合福島県南環境衛生センター	2004.3
5	東京電力(株)猪苗代電力所	2002.11	34	加藤鉄工(株)	2004.3
6	(株)良田建材店	2002.11	35	常光サービス(株)	2004.3
7	会津若松市湊土地改良区	2002.11	36	郡山市森林組合	2004.3
8	(株)クレハ分析センター	2003.1	37	(株)須賀川東部運送	2005.1
9	都築鋳産(株)	2003.2	38	日本電工(株)郡山工場	2005.1
10	協三工業(株)	2003.2	39	フジクリーン工業(株)	2005.1
11	(株)クレハいわき工場	2003.2		福島営業所	
15	豊鉄メタル(株)	2003.2	40	(株)会津電機工事	2005.1
13	(株)アメニティいわき	2003.2	41	(株)エアテック若松営業所	2005.1
14	エスエス製菓(株)福島工場	2003.4	42	(株)日本化学環境センター	2005.2
15	猪苗代町土地改良区	2003.4	43	(株)イジマ二本松営業所	2005.2
16	(株)東栄科学産業郡山営業所	2003.4	44	沖マイクロ技研(株)	2005.2
17	(社)福島県浄化槽協会	2003.9	45	(有)安澤商店	2005.2
18	東北緑化環境保全(株)	2003.9	46	郡山市婦人団体協議会	2005.5
	会津支社		47	(株)三輪工業	2005.5
19	郡山商工会議所	2003.9	48	日豊金属化学(株)会津工場	2005.5
20	(株)新環境分析センター	2003.9	49	(財)福島県保健衛生協会	2005.5
21	マリーナレイク猪苗代(株)	2003.10	50	(株)ユニオンアスリート	2005.5
22	郡山ヨットクラブ	2003.11	51	磐梯産業(株)	2005.6
23	浜通り医療生活協同組合	2003.12	52	Spanision Japan(株)	2005.11
24	水すまし会	2003.12		会津事業所	
25	(有)マシコ総業	2004.1	53	(株)会津技研	2006.12
26	(株)小林商店	2004.1	54	日本ジェオスキー協会	2007.5
27	(株)日進堂印刷所	2004.1	55	大茂田川の自然を守る会	2008.5
28	(株)ジェーシーエス	2004.2	56	(社)福島県薬剤師会	2008.7
29	(株)クレハ環境	2004.2	57	(株)福島中央テレビ	2008.8

湖美来クラブでは、クラブ会員を募集しています(法人・個人)。年会費等の詳細は最終面をご覧ください。

「猪苗代湖と裏磐梯の湖沼を美しいまま未来へ引き継ぐ」ため、湖美来基金は、流域内の水環境保全活動に対して、助成金を支出し活動を支援しています。

平成15年度から平成19年度までに、助成団体延べ53団体、助成総額約890万円と、多くの活動を支援することが出来ました。

個人／法人へ会員の皆さまからいただく会費が、湖美来基金の支援事業を支えています。

協議会では、今後も猪苗代湖と裏磐梯湖沼並びに流域の水環境を守るため、イベント事業や清掃活動はもちろん、湖美来基金の効果的な運営を行ってまいります。

次代に残そう 紺碧の猪苗代湖
清らかな青い湖 裏磐梯

湖美来基金による平成20年度の水環境保全活動支援団体(個人)

- 猪苗代湖の自然を守る会
- NPO法人わかば自然楽校
- (社)猪苗代観光協会
- いなわしろに里を呼び戻そう会
- 高槻一孝
- 猪苗代町立猪苗代中学校
- 大茂田川の自然を守る会
- 川析ふるさと会
- 水と緑を守る舟津川愛護会
- 鈴木佐知子
- greeny
- 福島大学共生システム理工学類 生物多様性保全研究室
- 中野英之
- 裏磐梯ホテルの会
- 会津若松市立湊小学校

〔敬称略〕横木四



秋のお出かけのリストに加えてください！

○浜路浜からの夕日(郡山市湖南町)

猪苗代湖の東側、郡山市湖南町の浜路浜付近では、道路が湖岸に沿って走っていますので、美しい湖面を横目に見ながらのドライブが楽しめます。(でも、くれぐれも運転に「注意」)
特に、湖面に映える夕景は絶景です。
夕映えは日によって異なりますので、どんな景色に出会えるかを楽しみに、出かけてみるのも良いでしょう。

右写真は浜路浜水塔



右写真は朝日山



●撮影した日：平成20年11月18日
少し雲が多いが、幻想的な景色でした。



読者プレゼント

「七重郎」純米吟醸無濾過原酒(赤ラベル)を10名の方にプレゼントします(応募多数の場合、抽選)

希望される方は、お名前・ご住所・年齢・湖美来クラブ会員番号(個人の方)、よろしければ湖美来通信への「意見などを記入の上、はがき、又はメールで」応募ください。(未成年の方の応募はできません)
応募締め切り/12月24日(水)必着



猪苗代町朝日酒造の「七重郎」

【宛先】

T 960-8670 〒のみで住所は省略可)

福島県生活環境部水・大気環境課内

協議会事務局 プレゼント係

E-mail: koushikyo@hira-net21.ne.jp

※当選者の発表はプレゼントの発送をもち代えさせていただきます

協議会からのお知らせ

★寄付御礼

湖美来(みずみらい)基金に対してご寄付をいただいたいております。ありがとうございます。ありがとうございました。

- ・(株)あいづラストセンター様 (会津若松市4月)
- ・天神浜オートキャンプ場様 (猪苗代町4月)
- ・株式会社大東銀行様 (郡山中4月)
- ・中田浜フリート様 (福島市他2月)
- ・磐梯観光船(株) 長浜営業所様 (猪苗代町8月)

(紙面の都合上、感謝ですが1万円以上の「ご寄付」について掲載させていただきます。)

★水環境保全フォーラムのご案内

協議会では、猪苗代湖や裏磐梯湖沼の水環境に対して皆さまの理解を深めていただくことを目的に、今年度も左記によりフォーラムを開催します。

●日時

平成20年11月27日(木)

午後1時より

●場所

ホテルリステル猪苗代 (猪苗代町)

●申込

協議会事務局

(原付水・大気環境課内)

電話：024-533-7975

湖美来クラブ 会員募集中!

あなたも湖美来クラブ員になりませんか?

「あなたの愛を 湖美来クラブへ」

- ◆会員期間 一年間(更新あり)
- ◆年会費 法人1万円 個人2千円
- ◆会員特典 抽選での特産品プレゼント他

※クラブ員を随時募集しています。詳しくは事務局へお問い合わせください。